

会計名 一般会計			企画展開催事業				担当部	市民活動部		
款	項	目					担当課	歴史博物館		
10	6	14					担当係	歴史博物館		
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	歴史・文化財							
		施策の内容	歴史博物館の整備							
	目的	企画展を開催し、刈谷やその周辺の地域の歴史に関して学ぶ機会を提供する。また遠方の歴史資料を借用公開することで、様々な歴史資料に触れる機会を市民に提供する。				主たる内容	○企画展の開催 ○企画展関連イベント（ワークショップ、講演会、イベント）の開催 ○次期企画展開催の準備			
	位置づけ	第2次刈谷市文化振興基本計画、刈谷市歴史博物館基本計画								
	根拠法令	文化財保護法、博物館法								
	対象者	対象者を限定せず				事業期間	平成30年度～			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input checked="" type="checkbox"/> その他								
	B 事業実績 D 実績 O 実施 V	29年度実績		30年度実績		元年度実績		2年度計画		
				<ul style="list-style-type: none"> 水野勝成展の開催 5,922人 企画展関連イベントの開催 次期企画展開催の準備 		<ul style="list-style-type: none"> 水野勝成展の開催 14,239人 はこぶものたち展の開催 4,503人 中条遺跡展の開催 5,652人 豊田佐吉・喜一郎展の開催 5,303人 企画展関連イベントの開催 次期企画展開催の準備 		<ul style="list-style-type: none"> 歴史へのいざない展の開催 ※中止 戦時下の刈谷展の開催 ※中止 徳川家康の遺産展の開催 収蔵品展の開催 企画展関連イベントの開催 次期企画展開催の準備 		
成果		特色ある4つの企画展を開催することで、様々な歴史資料に触れる機会を来館者に提供することができた。								
課題		企画展の準備や運営方法において、よりコスト削減できる方法を検討する必要がある。								
他市との比較検証		当館と同等面積の企画展示室を保有している近隣市は知立市と東浦町であるが、年1回程度しか企画展を開催しないため、当館との比較は難しい。								
C 事業コスト V	単位：千円		29年度（決算）	30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（予算）	元年度事業費内訳			
	事業費 ①		0	7,139	24,668	36,303	合計	24,667,700 円		
	財源	特定財源	0	204	525	10,582	賃金	3,056,760 円		
		一般財源	0	6,935	24,143	25,721	報償費	879,504 円		
	職員人件費 ②		0	6,172	10,782	8,708	旅費	1,101,410 円		
	総事業費（①+②）		0	13,311	35,450	45,011	需用費	3,084,973 円		
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		元年度特定財源名称				
元年度までの累積事業費		0		冊子等頒布収入 講座受講料						
3年度以降の事業費見込		0								

会計名			企画展開催事業	担当部	市民活動部
一般会計				担当課	歴史博物館
款	項	目		担当係	歴史博物館
10	6	14			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 法的業務 ・ 市民ニーズ、社会需要 ・ 市民生活上必要である など 		普通	歴史博物館において定期的に企画展を開催することで、リピーターの増加及び、来館者層の拡大を図ることができる。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・ コストの節減、費用対効果 ・ 執行体制の効率性 ・ 手段の最適性 など 		普通	資料の借用公開にあたっては、輸送による資料の劣化や破損を防ぐと共に、公開中における資料の劣化を防止する最適な方法を検討した上で行っている。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市が主体となって実施すべき事業であるか ・ 総合計画との整合性 など 		普通	地域の歴史に関する展示は、市民の郷土への愛着の向上につながることから、継続的に取り組む必要があり、指定管理者制度はなじまない。市が主体となって取り組むことで、市の魅力発信にも繋がる。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 施策への貢献度 ・ 目標達成度 ・ 市民サービスへの効果 など 		高い	魅力ある企画展を継続的に開催することで、他市からの来訪者の増加も期待できる。さらに、市民の文化財保護や郷土の歴史に対する意識の向上にも繋げることができる。
	今後の方向性			<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
年数回、市民の興味関心を喚起するテーマを設定し、魅力ある企画展を開催していく。貴重な文化財の公開にあたっては、輸送や展示において破損や劣化を防ぐため、一定のコストがかかるが、展示内容によっては入館料を設定し、一部受益者負担も検討する。					

会計名 一般会計			文化財保存整備事業				担当部	市民活動部	
款	項	目					担当課	歴史博物館	
10	6	2					担当係	歴史博物館	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	歴史・文化財						
		施策の内容	文化財の保護・伝承・活用						
	目的	文化財の修復及び複製を製作することで、文化財の保存を図り、後世に伝える。	主たる内容	○市指定文化財を始めとした文化財の修復 ○修復に向けた学術調査					
	位置づけ	関連計画	第2次刈谷市文化振興基本計画、刈谷市歴史博物館基本計画						
		根拠法令	文化財保護法、刈谷市文化財保護条例						
		対象者	対象者を限定せず		事業期間	平成26年度～			
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B 事業実績 D 実績 O 実施 V	29年度実績		30年度実績		元年度実績		2年度計画	
		<ul style="list-style-type: none"> 「肴町の山車」の台輪の修復 「亀城小学校額絵」の修復 出土土器復元及び彩色 市指定史跡「椎の木屋敷跡」への防犯灯設置工事 		<ul style="list-style-type: none"> 歴史の小径案内板の貼替 「刈谷町鳥瞰図」の修復 市指定文化財「細井広沢扁額」の複製製作 泉田古墳出土遺物の保存処理 市指定史跡「椎の木屋敷跡」外灯LED取替工事 		<ul style="list-style-type: none"> 市指定文化財「鉄錆地塗紺系絨塗込仏胴具足」の修復に向けた学術調査の実施 市指定文化財「奴のねり」の道具の修復 		—	
成果		<ul style="list-style-type: none"> 市指定文化財「鉄錆地塗紺系絨塗込仏胴具足」の修復に向け、学術調査を実施することができた。 市指定文化財「奴のねり」で使用する道具の修復を行い、将来へ継承すべき文化財の保全に寄与することができた。 							
課題		市が所蔵する指定文化財をはじめとする歴史資料の保存状態の調査をする必要がある。							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				29年度	30年度	元年度	2年度	4年度	
活動指標		修復文化財数（点）			2	1	1	—	1
活動指標		複製製作文化財数（点）			0	1	0	—	1
他市との比較検証		豊田市では、平成27年度は2点、平成28年度は2点、平成29年度は1点の修復を行い、その他平成28年度には1点複製を製作した。							
C 事業コスト		単位：千円		29年度（決算）	30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（予算）	元年度事業費内訳	
	事業費①		2,198	8,260	1,311	0	合計 1,310,760円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	報償費 111,760円		
		一般財源	2,198	8,260	1,311	0	需用費 1,199,000円		
	職員人件費②		775	463	655	0			
	総事業費（①+②）		2,973	8,723	1,966	0			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		元年度特定財源名称			
元年度までの累積事業費		0							
3年度以降の事業費見込		0							

会計名			文化財保存整備事業	担当部	市民活動部
一般会計				担当課	歴史博物館
款	項	目		担当係	歴史博物館
10	6	2			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		普通	市民の財産である文化財を保護保存することは、文化財保護法に規定されている業務である。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		普通	文化財の修復には取扱いに習熟している専門業者への委託が不可欠であるが、修復方法については市の学芸員とともに調査・検討することで、より効果的な方法で実施した。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		高い	文化財は未来の市民へ繋いでいくべきものであり、市の事業として実施すべきものである。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		高い	修復や複製を製作することで、歴史博物館等の施設での公開が可能となり、文化財の活用を図ることができる。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
損傷が激しい文化財については、今後とも適宜修復等を行っていく。					

会計名 一般会計			施設管理事業				担当部	市民活動部			
款	項	目					担当課	歴史博物館			
10	6	14					担当係	歴史博物館			
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化			主たる内容	建物清掃委託や諸整備の管理業務委託など 歴史博物館の維持管理を行う。				
		基本施策	歴史・文化財								
		施策の内容	歴史博物館の整備								
	目的	歴史博物館を適正に維持管理することで、 施設の環境を最適に保つ。				主たる内容	建物清掃委託や諸整備の管理業務委託など 歴史博物館の維持管理を行う。				
	位置づけ	関連計画	刈谷市歴史博物館基本計画								
		根拠法令	博物館法、文化財保護法、刈谷市歴史博物館条例								
		対象者	対象者を限定せず		事業期間	平成30年度～					
		実施方法	□直営 ■委託 □指定管理 □補助・助成 □その他								
	B 事業実績 D 実績 O 実績 V	29年度実績		30年度実績		元年度実績		2年度計画			
		—		<ul style="list-style-type: none"> 建物清掃委託 空調設備保守管理業務委託 消防用設備保守管理業務委託 エレベーター保守管理業務委託 電気工作物保安管理業務委託 樹木等管理業務委託 警備保障業務委託 等 		<ul style="list-style-type: none"> 建物清掃委託 空調設備保守管理業務委託 消防用設備保守管理業務委託 エレベーター保守管理業務委託 ガスヒートポンプ保守点検業務委託 電話交換システム保守管理委託 等 		<ul style="list-style-type: none"> 建物清掃委託 空調設備保守管理業務委託 自動制御設備保守管理業務委託 消防用設備保守管理業務委託 エレベーター保守管理業務委託 ガスヒートポンプ保守点検業務委託 等 			
成果		施設、設備等を適切に維持管理することで、歴史資料や文化財を適切に保存・管理することができるとともに、市民に快適な鑑賞環境を提供することができた。									
課題		文化財保管のため、施設の状態に常に注視し、異常があった場合に速やかに対応する必要がある。									
指標名称（単位）					実績値		目標値				
					29年度	30年度	元年度	2年度	4年度		
成果指標		総入館者数（人） 平成30年度は3月24日～				—	9,823	55,051	40,000	42,000	
活動指標											
他市との比較検証											
C 事業コスト V		単位：千円		29年度（決算）	30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（予算）	元年度事業費内訳			
	事業費 ①		0	87,808	34,520	44,882	合計	34,520,307 円			
	財源	特定財源	0	5	88	115	需用費	16,812,150 円			
		一般財源	0	87,803	34,432	44,767	役務費	538,097 円			
	職員人件費 ②		0	1,659	3,158	2,953	委託料	17,049,154 円			
	総事業費（①+②）		0	89,467	37,678	47,835	使用料及び賃借料	120,906 円			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		元年度特定財源名称					
元年度までの累積事業費		0		土地建物貸付収入							
3年度以降の事業費見込		0									

会計名 一般会計			収藏品管理システム管理事業				担当部	市民活動部		
款	項	目					担当課	歴史博物館		
10	6	14					担当係	歴史博物館		
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	歴史・文化財							
		施策の内容	歴史博物館の整備							
	目的	歴史博物館の収藏品を適切に管理する。			主たる内容	歴史博物館の収藏品管理システムを管理・運用する。				
	位置づけ	関連計画	第2次刈谷市文化振興基本計画、刈谷市歴史博物館基本計画							
			根拠法令	博物館法						
		対象者	対象者を限定せず			事業期間	令和元年度 ~			
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 計画V	29年度実績		30年度実績		元年度実績		2年度計画		
		—		—		収藏品管理システムによる収藏品データの公開		収藏品管理システムによる収藏品データの公開		
成果		来館者閲覧向けデータベースの整理を行い、来館者の利便性向上に寄与することができた。								
課題		・一部の歴史資料及び考古資料の情報が整理しきれていないため、引き続き整理を進める必要がある。 ・現在収藏品管理システムは館内端末でしか閲覧できないため、HP等で公開し、更に利用者の利便性を向上していく必要がある。								
指標名称（単位）				実績値		目標値				
				29年度	30年度	元年度	2年度	4年度		
活動指標		資料閲覧件数（件）			—	—	217	230	230	
活動指標										
他市との比較検証										
C 事業コスト		単位：千円		29年度（決算）	30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（予算）	元年度事業費内訳		
	事業費 ①		0	0	468	473	合計	468,012 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	役務費	52,068 円		
		一般財源	0	0	468	473	委託料	23,544 円		
	職員人件費 ②		0	0	578	492	使用料及び賃借料	392,400 円		
	総事業費（①+②）		0	0	1,046	965				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		元年度特定財源名称				
		元年度までの累積事業費		0						
3年度以降の事業費見込		0								

会計名			参加・体験型歴史文化教育普及事業				担当部	市民活動部	
一般会計							担当課	歴史博物館	
款	項	目					担当係	歴史博物館	
10	6	14							
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	歴史・文化財						
		施策の内容	歴史博物館の整備						
	目的	市民が歴史文化を学ぶ機会を創出し、郷土の歴史文化に対する誇りと愛着を育む。	主たる内容	○市内中学校1年生向けの歴史博物館見学 ○歴史文化体験講座の開催 ○簡単工作づくりの開催 ○甲冑試着体験の開催					
	位置づけ	関連計画	第2次刈谷市文化振興基本計画、刈谷市歴史博物館基本計画						
		根拠法令	社会教育法、博物館法						
		対象者	対象者を限定せず	事業期間	令和元年度 ~				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B 事業 実績 O 実施 V	29年度実績		30年度実績		元年度実績		2年度計画	
		_____		_____		・市内中学1年生歴史博物館見学 1,376人 ・歴史体験講座開催 10回 ・簡単工作づくり開催 ・甲冑レプリカ試着体験開催		・市内中学校1年生歴史博物館見学 1,350人 ・歴史体験講座開催 10回 ・簡単工作づくり開催 ・甲冑レプリカ試着体験開催 ・ミュージアムシアター開催	
成果		・市内中学校1年生歴史博物館見学では、展示や学芸員の解説により、郷土の歴史文化の普及を図ることができた。 ・歴史体験講座等イベントの開催により、歴史博物館来館者層の拡大を図ることができた。							
課題		歴史体験講座について、講座内容により参加申込者数に偏りがあるため、人気のある講座内容を把握し、より利用者のニーズにあった講座を開催できるよう検討していく必要がある。							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				29年度	30年度	元年度	2年度	4年度	
活動指標		中学校1年生見学者数（人）			—	—	1,376	1,350	1,350
活動指標		歴史体験講座受講者数（人）			—	—	220	230	230
他市との比較検証									
C 事業 コスト		単位：千円		29年度（決算）	30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（予算）	元年度事業費内訳	
	事業費 ①		0	0	3,790	6,973	合計	3,789,691 円	
	財源	特定財源	0	0	119	577	需用費	990,991 円	
		一般財源	0	0	3,671	6,396	委託料	2,798,700 円	
	職員人件費 ②		0	0	5,237	5,149			
	総事業費（①+②）		0	0	9,027	12,122			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）			0	元年度特定財源名称			
元年度までの累積事業費			0	簡単工作参加料					
3年度以降の事業費見込			0						

会計名 一般会計			収蔵・展示等管理事業				担当部	市民活動部		
款	項	目					担当課	歴史博物館		
10	6	14					担当係	歴史博物館		
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	歴史・文化財							
		施策の内容	歴史博物館の整備							
	目的	展示・収蔵品および設備の管理を行うことで、展示品・収蔵品の劣化を防ぐとともに、地域の人々に歴史文化の魅力を提供する。			主たる内容	○歴史ひろば機器保守点検委託 ○お祭りひろば山車・万燈保守管理委託 ○燻蒸業務委託 ○文化財什器製作業務委託 ○展示品・収蔵品撮影委託 ○刀剣類保存作業業務委託				
	位置づけ	関連計画	第2次刈谷市文化振興基本計画、刈谷市歴史博物館基本計画							
		根拠法令	博物館法、文化財保護法							
		対象者	対象者を限定せず			事業期間	令和元年度 ~			
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 計画 実施 V	29年度実績		30年度実績		元年度実績		2年度計画		
		—		—		・歴史ひろば機器保守点検委託 ・燻蒸業務委託 2回 ・文化財什器製作業務委託 刀剣収納箱 7件 掛軸収納箱44件 ・展示品・収蔵品撮影委託 神代小町絵巻 1件 ・刀剣類保存作業業務委託 刀 1件		・歴史ひろば機器保守点検委託 ・燻蒸業務委託 2回 ・文化財什器製作業務委託 武器・武具用収納箱28件 掛軸収納箱20件 ・展示品・収蔵品撮影委託 刀剣ほか 10件 ・刀剣類保存作業業務委託 刀 1件 等		
成果		・文化財什器である刀剣・掛軸の収納箱の製作により、これまで他の資料と同梱等されていた資料をそれぞれの箱に納めることができ、資料の劣化を防ぐことができた。 ・刀剣類保存作業において、錆等により展示に堪えられなかった刀剣の研磨および保存用白鞘等の製作を行うことで、今後の展示等で活用できる状態になった。								
課題		計画的な撮影スケジュールを策定し、今後の研究や文化財活用に利用できるように画像データを整える必要がある。								
指標名称（単位）					実績値		目標値			
					29年度	30年度	元年度	2年度	4年度	
活動指標		文化財什器製作数（件）				—	—	51	48	30
活動指標		展示品・収蔵品撮影（件）				—	—	1	10	10
他市との比較検証										
C 事業コスト		単位：千円		29年度（決算）	30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（予算）	元年度事業費内訳		
	事業費 ①		0	0	4,068	5,570	合計 4,068,320 円			
	財源	特定財源	0	0	0	0	役務費 29,480 円			
		一般財源	0	0	4,068	5,570	委託料 4,038,840 円			
	職員人件費 ②		0	0	963	795				
	総事業費（①+②）		0	0	5,031	6,365				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）			0	元年度特定財源名称				
		元年度までの累積事業費			0					
3年度以降の事業費見込			0							

会計名			文化財保存管理事業				担当部	市民活動部		
一般会計							担当課	歴史博物館		
款	項	目					担当係	歴史博物館		
10	6	2								
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	歴史・文化財							
		施策の内容	文化財の保護・伝承・活用							
	目的	文化財を市内外へ向けて広報することで、文化財の保護と啓発普及を図る。				主たる内容	○文化財の保存管理に関する業務 ○「歴史の小径」のパンフレットの改定・印刷			
	位置づけ	関連計画	第2次刈谷市文化振興基本計画、刈谷市歴史博物館基本計画							
			根拠法令	文化財保護法						
		対象者	対象者を限定せず			事業期間	～			
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 計画	29年度実績		30年度実績		元年度実績		2年度計画		
		<ul style="list-style-type: none"> 椎の木屋敷跡他史跡管理 歴史の小径増刷 文化財保護審議会委員県外研修（五條市） 歴史資料等の購入 全国史跡整備市町村協議会参加 		<ul style="list-style-type: none"> 椎の木屋敷跡他史跡管理 歴史の小径増刷 文化財保護審議会委員県外研修（金沢市） 歴史資料等の購入 全国史跡整備市町村協議会参加 		<ul style="list-style-type: none"> 歴史の小径の改定及び増刷 文化財保護審議会委員県外研修（高岡市） 歴史資料等の購入 全国史跡整備市町村協議会参加 ※椎の木屋敷跡他史跡管理は史跡管理事業へ移行 		<ul style="list-style-type: none"> 歴史の小径の改定及び増刷 文化財説明板及び文化財修繕 文化財保護審議会委員県外研修（白河市） 歴史資料等の購入 全国史跡整備市町村協議会参加 		
成果		・歴史の小径パンフレット「城下町編」「高津波・小山編」「一ツ木・築地・恩田編」「刈谷城天誅組」を改定・増刷することで、文化財の啓発や史跡めぐりに生かすことができた。 ・刈谷に関わりのある貴重な歴史資料を購入することができた。								
課題		文化財の啓発と周知を図るため、「歴史の小径」等パンフレットを更に活用するとともに、ガイドボランティアとの連携を一層活発化させていく必要がある。								
指標名称（単位）					実績値		目標値			
					29年度	30年度	元年度	2年度	4年度	
活動指標		草刈・清掃等史跡管理回数（回／年）				12	12	12	12	12
成果指標		刈谷の歴史に興味を持っている市民の割合（％）				—	33.2	—	46.0	46.0
他市との比較検証		西尾市 草刈・清掃等史跡管理回数（4回程度／年）								
C 事業コスト		単位：千円		29年度（決算）	30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（予算）	元年度事業費内訳		
	事業費 ①		6,156	5,694	2,636	3,599	合計 2,635,640 円			
	財源	特定財源	7	7	0	0	旅費 145,680 円			
		一般財源	6,149	5,687	2,636	3,599	需用費 416,900 円			
	職員人件費 ②		233	309	1,155	871	役務費 3,060 円			
	総事業費（①+②）		6,389	6,003	3,791	4,470	備品購入費 2,000,000 円			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		元年度特定財源名称				
元年度までの累積事業費		0								
3年度以降の事業費見込		0								

会計名 一般会計			文化財保存事業費補助事業				担当部	市民活動部		
款	項	目					担当課	歴史博物館		
10	6	2					担当係	歴史博物館		
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	歴史・文化財							
		施策の内容	文化財の保護・伝承・活用							
	目的	市指定文化財を適正に保存・管理し、文化財を後世に伝える。	主たる内容	○金勝寺が所有する市指定有形文化財「静観堂屏風」の修繕に対する補助 ○小垣江山車保存会が所有する市指定文化財「小垣江の山車」に付属する幕の更新に対する補助 ○市指定天然記念物「専光寺のクスノキ」の樹勢回復に対する補助						
	位置づけ	関連計画		第2次刈谷市文化振興基本計画					事業期間	～
		根拠法令		刈谷市文化財保護条例、刈谷市文化財保存事業費補助金交付要綱						
		対象者	指定文化財の所有者							
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 計画 V	29年度実績		30年度実績		元年度実績		2年度計画		
		_____		・市指定文化財を保管している野田史料館の空調改修工事費への補助 ・市指定文化財「野田雨乞笠おどり」で使用する法螺貝の補修に対する補助		・市指定文化財「静観堂屏風」の修復費に対する補助 ・市指定文化財「小垣江の山車」の幕の更新に対する補助 ・市指定天然記念物「専光寺のクスノキ」樹勢回復に対する補助		市指定天然記念物「専光寺のクスノキ」樹勢回復に対する補助		
成果		・市指定有形文化財「静観堂屏風」の修復費に対して事業費の2/3を補助することで、貴重な文化財を良好な状態で後世に残すことができるようになった。 ・市指定有形民俗文化財「小垣江の山車」の幕の更新に対して事業費の2/3を補助することで、地区の祭礼等伝統行事の保存継承を支援することができた。								
課題		個人や団体等が所有する指定文化財の保存状態等の把握に関して、聞き取り確認やアドバイスをを行うことのできる機会をもっと設ける必要がある。								
指標名称（単位）				実績値		目標値				
				29年度	30年度	元年度	2年度	4年度		
活動指標		補助件数（件）			0	2	3	1	—	
指標										
他市との比較検証		近隣市の市指定文化財保存事業費補助金交付割合 ・文化財収蔵施設の建設（改修含む） 安城市… 1/3以内 岡崎市…3/5以内 豊田市…1000万以内 ・無形民俗文化財の道具の修繕 安城市…10/10以内 岡崎市…3/5以内 豊田市…上限なし								
C 事業コスト		単位：千円		29年度（決算）	30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（予算）	元年度事業費内訳		
	事業費 ①		0	441	11,576	108	合計 11,576,366 円			
	財源	特定財源	0	0	300	0	負担金、補助及び交付金 11,576,366 円			
		一般財源	0	441	11,276	108				
	職員人件費 ②		0	231	1,348	114				
	総事業費（①+②）		0	672	12,924	222				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		元年度特定財源名称				
元年度までの累積事業費		0		地域創造助成金						
3年度以降の事業費見込		0								

会計名 一般会計			市史資料整理活用事業				担当部	市民活動部	
款	項	目					担当課	歴史博物館	
10	6	1			担当係	歴史博物館			
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	歴史・文化財						
		施策の内容	文化財の保護・伝承・活用						
	目的	歴史に関わる資料の調査・整理を行うことで、歴史資料の保存と活用を図る。			主たる内容		市内外における歴史資料を調査・整理し、目録を作成する。		
	位置づけ	関連計画 第2次刈谷市文化振興基本計画、刈谷市歴史博物館基本計画							
		根拠法令	博物館法、文化財保護法						
		対象者	対象者を限定せず			事業期間	～		
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B 事業実績	29年度実績		30年度実績		元年度実績		2年度計画	
		・資料調査の実施 5回 ・資料整理の実施 ・新聞データの整理		・資料調査の実施 5回 ・資料整理の実施 ・新聞データの整理		・資料調査の実施 13回 ・資料整理の実施 ・新聞データの整理		・資料調査の実施 15回 ・資料整理の実施 ・新聞データの整理	
成果		・資料調査によって、新しく発見した資料を収集し、整理できた。 ・整理済資料から歴史研究を行い、出前講座等で活用し、市民に刈谷の歴史を啓発できた。 ・マイクロフィルムの紙焼きを進め、市民が閲覧できる環境を整えた。 ・新聞記事により、刈谷関係および文化財関係記事のデータベース化を行った。							
課題		新しい資料整理に時間を要しているため、今後その資料内容の分析を行う必要がある。							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				29年度	30年度	元年度	2年度	4年度	
活動指標	調査回数（回）			5	5	13	15	15	
活動指標									
他市との比較検証	名古屋市と安城市では、市史の刊行は完結し、博物館が必要に応じて調査を実施している。								
C 事業コスト	単位：千円		29年度（決算）	30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（予算）	元年度事業費内訳		
	事業費 ①		3,745	4,924	4,949	6,180	合計	4,948,609 円	
	財源	特定財源	41	196	185	115	賃金	2,694,880 円	
		一般財源	3,704	4,728	4,764	6,065	旅費	27,560 円	
	職員人件費 ②		1,163	1,157	3,196	2,385	需用費	2,207,857 円	
	総事業費（①+②）		4,908	6,081	8,145	8,565	役務費	11,712 円	
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		元年度特定財源名称			
元年度までの累積事業費		0		冊子等頒布収入					
3年度以降の事業費見込		0							

会計名 一般会計			埋蔵文化財調査整理事業				担当部	市民活動部		
款	項	目					担当課	歴史博物館		
10	6	2					担当係	歴史博物館		
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	歴史・文化財							
		施策の内容	文化財の保護・伝承・活用							
	目的	埋蔵文化財の保存・活用を図る。			主たる内容	試掘調査や緊急発掘調査により市内の遺跡から出土した遺物および調査記録を整理・保存する。				
	位置づけ	関連計画	第2次刈谷市文化振興基本計画、刈谷市歴史博物館基本計画							
			根拠法令	文化財保護法						
		対象者	対象者を限定せず			事業期間	平成30年度～			
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 計画V	29年度実績		30年度実績		元年度実績		2年度計画		
				<ul style="list-style-type: none"> 市内遺跡出土遺物の整理 1次整理（洗浄・注記） 2次整理（拓本・実測） 窓口照会 760件 試掘調査 36件 工事立会 29件 緊急発掘調査 2件 ※発掘調査出土遺物整理事業と埋蔵文化財発掘調査事業から移行		<ul style="list-style-type: none"> 市内遺跡出土遺物の整理 1次整理（洗浄・注記） 2次整理（拓本・実測） 窓口照会 388件 試掘調査 30件 工事立会 30件 緊急発掘調査 3件 		<ul style="list-style-type: none"> 市内遺跡出土遺物の整理 1次整理（洗浄・注記） 2次整理（拓本・実測） 窓口照会 400件 試掘調査 30件 工事立会 30件 緊急発掘調査 2件 		
成果		A1判の遺跡地図を作製し照会業者に配布したことで、増加傾向にある窓口照会業務の効率化・職員の負担軽減をすることができた。緊急発掘調査は、3件とも調査規模が比較的小さかったが、施主や施工業者と調整しつつ、適正な記録保存を行うことができた。いずれも1次整理まではすべて実施することができた。								
課題		文化財保護法に基づく発掘届が提出される前に土地売買のための整地が行われ、土量が削平滅失した事例があるため、事前申請についてより周知していく必要がある。								
指標名称（単位）					実績値		目標値			
					29年度	30年度	元年度	2年度	4年度	
活動指標		1次整理作業実施率（％）				—	100	100	100	100
活動指標		2次整理作業実施件数（件）				—	2	1	2	2
他市との比較検証		<ul style="list-style-type: none"> 安城市では埋蔵文化財の有無照会をはじめとする業務を基本的に歴史博物館で行っている。また、博物館では展示等を行う学芸係と発掘調査を含む文化財調査を行う文化財係に分かれている。 西尾市では遺跡地図をGISで公開している。 								
C 事業コスト		単位：千円		29年度（決算）	30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（予算）	元年度事業費内訳		
	事業費①		0	9,410	9,488	16,605	合計 9,487,510円			
	財源	特定財源	0	2	24	52	賃金 7,547,900円			
		一般財源	0	9,408	9,464	16,553	報償費 6,400円			
	職員人件費②		0	4,645	5,507	3,143	旅費 16,200円			
	総事業費（①+②）		0	14,055	14,995	19,748	需用費 102,086円			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		元年度特定財源名称				
元年度までの累積事業費		0		冊子等頒布収入						
3年度以降の事業費見込		0								